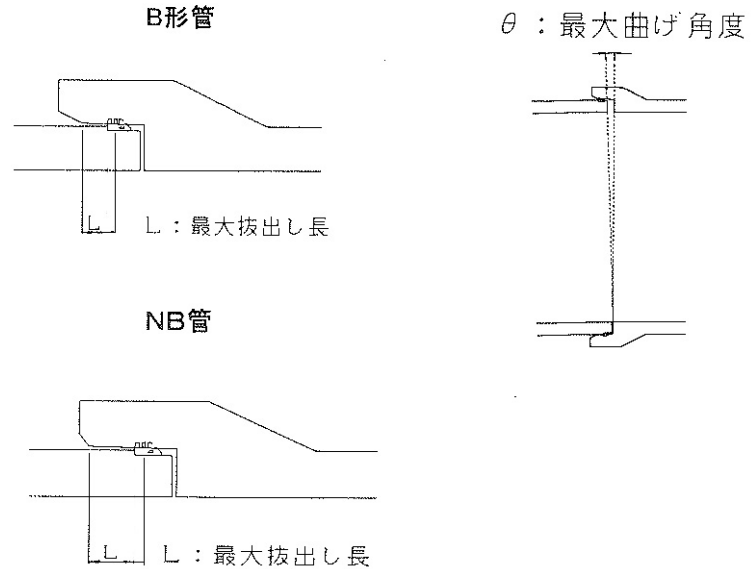


表3 - 2 下水道用鉄筋コンクリート管（その2）JSWAS A-1

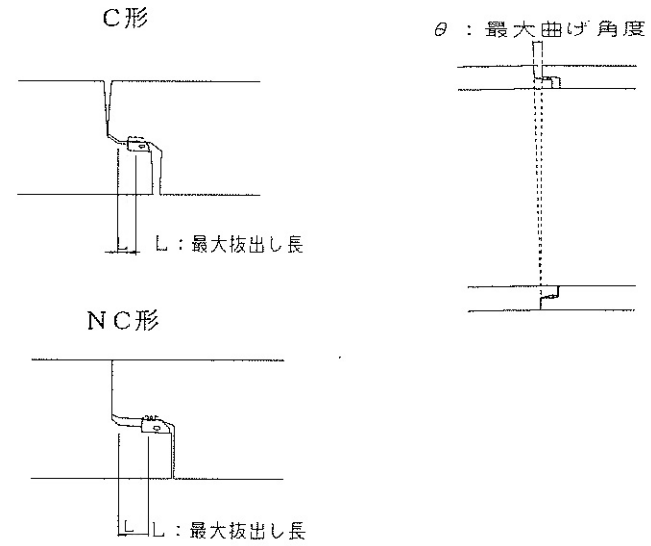
管径 (mm)	有効長 B,NB形	最大曲げ角度(°)		最大拔出し長(mm)	
		B形	NB形	B形	NB形
150	2.00	11° 12'	13° 05'	40.0	47.0
200	2.00	8° 56'	10° 29'	40.0	47.0
250	2.00	7° 26'	8° 43'	40.0	47.0
300	2.00	5° 42'	7° 26'	36.0	47.0
350	2.00	4° 58'	6° 28'	36.0	47.0
400	2.43	5° 10'	7° 05'	42.5	58.5
450	2.43	4° 37'	6° 20'	42.5	58.5
500	2.43	4° 09'	5° 43'	42.5	58.5
600	2.43	3° 52'	4° 46'	47.5	58.5
700	2.43	3° 03'	4° 06'	43.5	58.5
800	2.43	2° 58'	3° 35'	48.5	58.5
900	2.43	2° 55'	3° 11'	53.5	58.5
1000	2.43	3° 10'		64.5	
1100	2.43	2° 58'		66.5	
1200	2.43	2° 54'		70.5	
1350	2.43	2° 44'		74.5	



- 1 パネル2における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。
- 2 パネル1における照査数値は、パネル2照査数値の1/2とする。この数値は、許容拔出し長及び許容曲げ角度と呼ばれるもので、曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパネル1照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。
- 3 耐震設計(パネル2)において、拔出し長が不足する場合がある。この場合は、NB形または半管を使用する。
- 4 NB形とは、B形の受け口長さを長くした管のことをいう。

表3 - 2 下水道用鉄筋コンクリート管（その4）JSWAS A-1

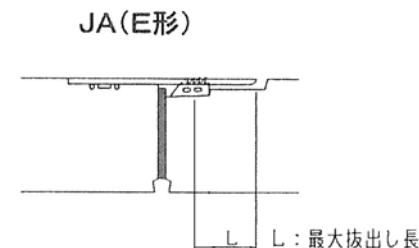
管径 (mm)	有効長		最大曲げ角度(°)		最大拔出し長(mm)	
	C形	NC形	C形	NC形	C形	NC形
1500	2.36	2.30	0° 35'	1° 51'	18.0	57.5
1650	2.36	2.30	0° 32'	1° 41'	18.0	57.5
1800	2.36	2.30	0° 30'	1° 33'	18.0	57.5
2000	2.36	2.30	0° 34'	1° 24'	23.0	57.5
2200	2.36	2.30	0° 31'	1° 16'	23.0	57.5
2400	2.36	2.30	0° 31'	1° 20'	25.5	66.0
2600	2.36	2.30	0° 29'	1° 14'	25.5	66.0
2800	2.36	2.30	0° 32'	1° 09'	30.5	66.0
3000	2.36	2.30	0° 30'	1° 04'	30.5	66.0



- 1 べル2における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。
- 2 べル1における照査数値は、べル2照査数値の1/2とする。この数値は、許容拔出し長及び許容曲げ角度と呼ばれるもので、曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがべル1照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。
- 3 耐震設計(べル2)において、拔出し長が不足する場合がある。この場合は、NC形を使用する。

表 3 - 4 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（その 2）  
継手性能 JA（E 形管）

管径 (mm)	有効長 (m)	許容		最大	
		曲げ角度(°)	拔出し長(mm)	曲げ角度(°)	拔出し長(mm)
800	2.43	3° 60'	67	4° 48'	80.5
900	2.43	3° 33'	67	4° 16'	80.5
1000	2.43	3° 12'	67	3° 50'	80.5
1100	2.43	2° 56'	67	3° 31'	80.5
1200	2.43	2° 41'	67	3° 13'	80.5
1350	2.43	2° 24'	67	2° 53'	80.5
1500	2.43	2° 09'	67	2° 35'	80.5
1650	2.43	1° 58'	67	2° 22'	80.5
1800	2.43	1° 49'	67	2° 10'	80.5
2000	2.43	1° 38'	67	1° 58'	80.5
2200	2.43	1° 29'	67	1° 47'	80.5
2400	2.43	1° 22'	67	2° 02'	100.0
2600	2.43	1° 16'	67	1° 53'	100.0
2800	2.43	1° 10'	67	1° 45'	100.0
3000	2.43	1° 06'	67	1° 38'	100.0

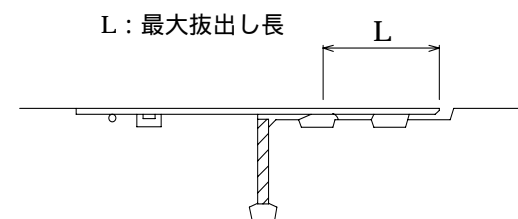


- 1 パイル 2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。  
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 パイル 1 における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパイル 1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 4 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管 JB (その 3)  
継手性能 JB (W ジョイント管 J - 2)

管径 (mm)	有効長 (m)	許容		最大	
		曲げ角度(°)	拔出し長(mm)	曲げ角度(°)	拔出し長(mm)
800	2.43	4° 35'	77	5° 11'	87.0
900	2.43	4° 05'	77	4° 36'	87.0
1000	2.43	3° 40'	77	4° 09'	87.0
1100	2.43	3° 22'	77	3° 48'	87.0
1200	2.43	3° 05'	77	3° 29'	87.0
1350	2.43	2° 45'	77	3° 02'	85.0
1500	2.43	2° 29'	77	2° 44'	85.0
1650	2.43	2° 16'	77	2° 30'	85.0
1800	2.43	2° 05'	77	2° 18'	85.0
2000	2.43	1° 53'	77	2° 04'	85.0
2200	2.43	1° 43'	77	1° 53'	85.0
2400	2.43	1° 34'	77	1° 42'	83.0
2600	2.43	1° 27'	77	1° 34'	83.0
2800	2.43	1° 21'	77	1° 27'	83.0
3000	2.43	1° 16'	77	1° 22'	83.0

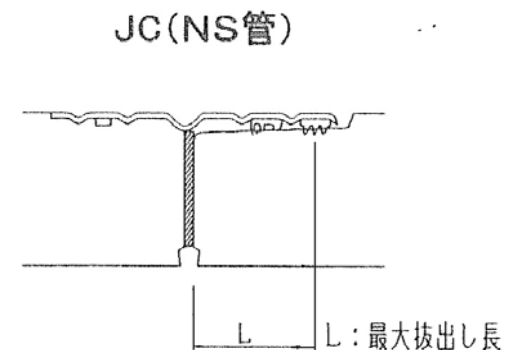
JB (W ジョイント管 J - 2)



- 1 パイル 2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。  
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 パイル 1 における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパイル 1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 4 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管 JC (その 4)  
継手性能 JC (NS 推進管)

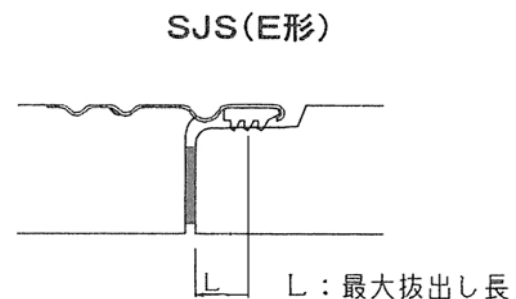
管径 (mm)	有効長 (m)	許容		最大	
		曲げ角度(°)	拔出し長(mm)	曲げ角度(°)	拔出し長(mm)
800	2.43	5° 46'	97	8° 02'	135.5
900	2.43	5° 08'	97	7° 09'	135.5
1000	2.43	4° 37'	97	6° 27'	135.5
1100	2.43	4° 14'	97	5° 54'	135.5
1200	2.43	3° 53'	97	5° 25'	135.5
1350	2.43	3° 28'	97	4° 50'	135.5
1500	2.43	3° 07'	97	4° 21'	135.5
1650	2.43	2° 51'	97	3° 58'	135.5
1800	2.43	2° 37'	97	3° 39'	135.5
2000	2.43	2° 22'	97	3° 18'	135.5
2200	2.43	2° 09'	97	3° 00'	135.5
2400	2.43	1° 59'	97	2° 46'	136.0
2600	2.43	1° 50'	97	2° 34'	136.0
2800	2.43	1° 42'	97	2° 23'	136.0
3000	2.43	1° 35'	97	2° 14'	136.0



- 1 パイル 2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。  
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 パイル 1 における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパイル 1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 5 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管（その 2）  
継手性能 SJS（E 形管）

管径 (mm)	有効長 (m)	許容		最大	
		曲げ角度(°)	拔出し長(mm)	曲げ角度(°)	拔出し長(mm)
200	2.00	2° 37'	14.5	5° 13'	29
250	2.00	2° 18'	14.5	4° 36'	29
300	2.00	2° 00'	14.5	4° 00'	29
350	2.00	1° 46'	14.5	3° 32'	29
400	2.43	1° 35'	14.5	3° 09'	29
450	2.43	1° 25'	14.5	2° 51'	29
500	2.43	1° 18'	14.5	2° 36'	29
600	2.43	2° 02'	27.0	4° 04'	54
700	2.43	1° 45'	27.0	3° 31'	54

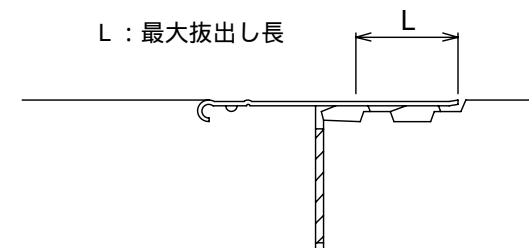


- 1 パネル 2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。
- 2 パネル 1 における照査数値は、パネル 2 照査数値の 1/2 とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパネル 1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 5 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管 (その 3)  
継手性能 SJA (Wジョイント管 J - 4)

管径 (mm)	有効長 (m)	許容		最大	
		曲げ角度(°)	拔出し長(mm)	曲げ角度(°)	拔出し長(mm)
200	2.00		40		
250	2.00	6° 20'	40	8° 13'	52
300	2.00	5° 31'	40	7° 10'	52
350	2.00	5° 43'	47	6° 19'	52
400	2.43	5° 06'	47	5° 39'	52
450	2.43	4° 36'	47	5° 05'	52
500	2.43	4° 12'	47	4° 39'	52
600	2.43	3° 32'	47	4° 31'	60
700	2.43	3° 03'	47	3° 54'	60

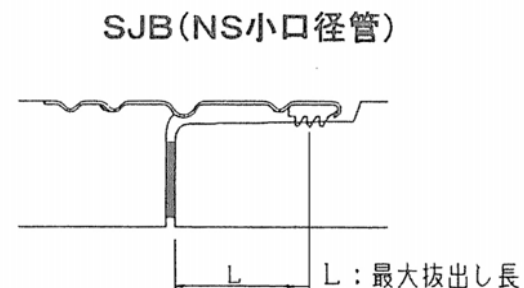
SJA (Wジョイント管 J - 4)



- 1 パネル 2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。  
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 パネル 1 における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパネル 1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 5 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管（その 4）  
継手性能 SJB（NS 小口径推進管）

管径 (mm)	有効長 (m)	許容		最大	
		曲げ角度	拔出し長	曲げ角度	拔出し長
200	2.00	8° 56'	50	14° 43'	83.5
250	2.00	7° 54'	50	13° 04'	83.5
300	2.00	6° 53'	50	11° 24'	83.5
350	2.00	6° 55'	57	10° 04'	83.5
400	2.43	6° 11'	57	9° 01'	83.5
450	2.43	5° 34'	57	8° 08'	83.5
500	2.43	5° 05'	57	7° 26'	83.5
600	2.43	4° 17'	57	6° 39'	88.5
700	2.43	3° 42'	57	5° 45'	88.5



- 1 いゞゞ2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。  
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 いゞゞ1 における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがいゞゞ1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。